

第 18 回 資料 6 抜粋

10.5 その他の情報の整理

(1) 産卵実態

10.2 で選定された魚介類の産卵実態について、漁業関係者、NPO 及び県水産試験場のヒアリング及び現地調査等の情報を整理し、「産卵に関する情報がある水域」を整理した(表 10.5)。その結果、産卵場を特定できるヒアリング等による確認情報はなかった。

表 10.5 産卵に関する情報がある水域

種 名	ヒアリング結果
アユ	産卵場所を特定できる確認情報は得られなかった。
オイカワ	産卵場所を特定できる確認情報は得られなかった。

※ () は回答者所属機関名

10.6 まとめ(産卵・生育の状況の把握について)

宝満川における主要魚介類のうち、当該河川を産卵場・生育場とする種としてはアユ・オイカワ・コイ・モクズガニがあげられる。

今後は各魚介類の産卵・生育に適する水域の河床材料、植生及び塩分などの条件並びに関係機関等へのヒアリング等の結果等に留意して、これらの魚介類の産卵・生育の実態をさらに把握していく必要があると考えられる。

なお、その際には以下の情報に留意が必要と思われる。

(ア) オイカワは柚須原本道寺～吉木橋までの範囲が産卵場として好適な水域であると想定された。